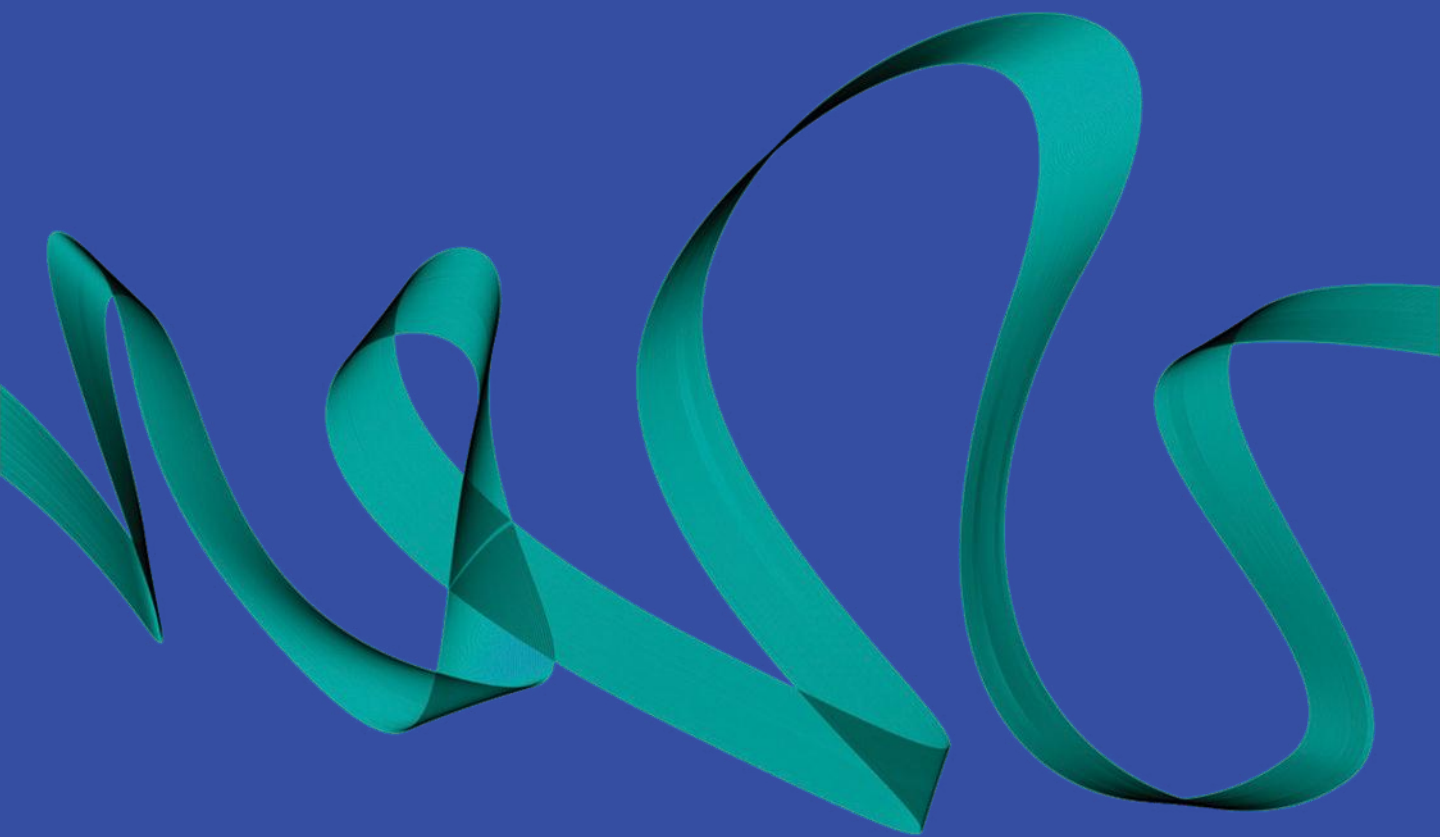




インドネシアにおける自動車部品産業



イプソス・ビジネス・コンサルティング
構築・競争・成長

目次

はじめに	3
インドネシアにおける自動車部品市場	3
インドネシアの人口ピラミッドと人間開発指数(HDI)	4
インドネシアにおける自動車市場概要	4
インドネシアの四輪車生産と販売	5
インドネシアの二輪車生産と販売	6
2012年にインドネシアで販売された自動車メーカー上位10社	7
インドネシアの自動車メーカー生産能力	7
インドネシアにおける自動車部品市場概要	8
インドネシアにおける自動車部品産業群	9
インドネシアにおける自動車部品生産	10
インドネシアの自動車部品輸出先	10
インドネシアの最低賃金と1人当たりのGDP(購買力平価換算)	11
自動車部品に関する政府の方針と規制	11
MP3ETプログラムを通じた政府投資計画	12
政府インフラ投資計画	13

お問い合わせ先



インドネシア ビジネスアナリスト
アーロン・パルデデ

aron.pardede@ipsos.com

イプソス・ビジネス・コンサルティングによる自動車調査・コンサルティング

イプソス・ビジネス・コンサルティングは事実に基づいた調査・コンサルティングサービスで、世界中の優良企業、政府関係機関から信頼を得ています。国内外の企業や政府関係機関が世界的に新興国や先進国市場でビジネスを構築し、競争し、成長する過程で、当社は事実に基づいた市場分析をご提供することによって、ビジネス支援をさせて頂いております。

イプソス・ビジネス・コンサルティングは、1994年香港に最初のオフィスを開業して以来、特にアジアを中心とした独自の歴史と経験を誇りとしています。当社はこの何年にもわたるアジア太平洋地域から欧米へと事業を拡大し、最近ではアフリカで初のオフィスを開業しました。当社は、アジア太平洋地域における市場情報提供会社からスタートし、今では世界85カ国に拠点を置くグローバルなイプソス・ネットワークのコンサルティング部門として活動しています。また、当社の自動車分野における事業は1990年代にさかのぼり、アジア太平洋地域全域に展開する自動車メーカーに対し、調査やコンサルティング・サービスを提供するリーディングカンパニーとしての地位をいち早く築きました。現在当社のサービスは、自動車OEM、建設車両OEM、自動車部品、潤滑油・塗装・コーティングといった関連産業を網羅しています。

イプソス・ビジネス・コンサルティングは、自動車市場における事実に基づいた実践的アドバイスを提供することにより、自動車産業でビジネスをおこなう企業の皆様への支援を続けています。当社は20年以上培った自動車市場での経験を活かし、地域をまたいだアドバイスをご提供いたします。

詳細な情報をお知りになりたい方はこちらまでお問い合わせください。 automotive.bc@ipsos.com

2013年12月

本文書に含まれる情報は一般的な情報であり、いかなる個人や実在の事項を言及するものではありません。正確かつ時宜を得た情報提供に努力していますが、このような情報を受けた時点で正確であること、また将来にわたり正確であることを保証するものではありません。このような情報を利用する際は、必ず専門家による特定の状況検証の後、適切なアドバイスを受けてください。

@2013年 イプソス 無断転載禁止 本資料にはイプソスの機密情報と独占情報が含まれます。当社に対して書面による事前の許可なく、公開、または複製することを禁じます。

www.ipsosconsulting.com

はじめに

インドネシアにおける自動車産業はここ数年間成長してきました。それは通勤を主目的とした二輪・四輪車を購入する人が増えているためです。インドネシア投資ウェブサイト (www.indonesia-investments.com) によれば、2013年上半期の自動車販売数は過去最高の50万台を記録し、続く下半期も堅調な販売台数が期待されています。

過去5年間、自動車販売はインドネシアだけで合計400万台になりました。自動車販売産業の専門家は2014年とそれ以降も同等の販売台数を予測しています。旧式モデル車の消耗にともない、自動車部品産業にとっては、今後数年間間違いなく買い替え需要の伸びが見られると予測されています。

インドネシアにおける自動車部品市場

インドネシアにおける自動車部品市場は、ここ数年、中間層の増加とともにその需要が増加しています。公共交通機関が不便なため、人々は自分の移動手段を求めようになり、他の市場の動きもあって自家用車を所有する余裕が生まれたからです。しかしながら、インドネシアでは新型モデルの四輪車を購入することは、多くの人にとって経済的に困難であるため、新モデルの四輪車を購入するのではなく、部品を探してきて旧モデルの四輪車を修理しなければなりません。

自動車部品メーカーが現在のインドネシア市場に参入するにあたっての「機会」と「脅威」を以下に整理しました。

機会	脅威
<ul style="list-style-type: none">インドネシアの景気回復のおかげで、中間富裕層が国全体で増加し、多くの人々が四輪車を所有できるようになった。二輪車や四輪車の購入が検討されている。インドネシア全土では公共交通機関が不便なため、自分自身の移動手段が求められている。インドネシア財務省によれば、「インドネシア経済発展の加速と拡大に関する総合基本計画 (MP3EI)」は2013年に546兆ルピアに達する見込み。これによって国全体で経済が大きく発展すれば、若い労働者の賃金も上がり、四輪車の購入が容易になる。2015年に、ASEANは初めて国境を越えた自動車市場に発展する見込み。	<ul style="list-style-type: none">インドネシア政府は州予算の燃料補助金を減らしているため、燃料価格が上昇し続ける見込み。2012年、インドネシア中央銀行は自動車購入時に最低30%の頭金を設定することを決定。インドネシアの主要都市における道路網の拡張は、交通事情の悪化のために中断されている。純正自動車部品部門と中古自動車部品部門で働く人々にとって、海外から流入する偽自動車部品は大きな圧力となっている。



出典: * MP3EI whitepaper: http://www.ekon.go.id/media/filemanager/2011/07/06/m/p/mp3ei-english_final.pdf

インドネシアの人口ピラミッドと人間開発指数(HDI)

インドネシアにおける自動車部品市場のポテンシャル

投資家がインドネシアにおける現在および将来にわたる自動車部品市場のポテンシャルをより深く理解するうえで、重要なファクターになるのは間違いなく若い世代です。若い世代の人口増加と人間開発指数(HDI)の増加は、インドネシアの自動車部品産業における際立った市場ポテンシャルの兆候を示しています。

若い世代とHDI増加が市場のポテンシャルを引き出す



- インドネシアの人口は2012年に2億5千万人に達し、ますます急速に伸びています。現在、人口の50%以上が20~54歳の生産年齢層です。
- より人口の多い若い世代がより高い所得を得ることは、他の年齢層よりも多く消費をするということを示しています。そして、これは若者が自家用車を必要としていることを示しており、自動車部品市場のポテンシャルが広がっています。
- その他の主な要因として、インドネシアの人間開発指数(HDI)は過去5年間で増加し、この国に暮らす人々の全体的な生活状態が改善していることを示しています。これには平均余命、教育水準や収入といった要因が含まれます。

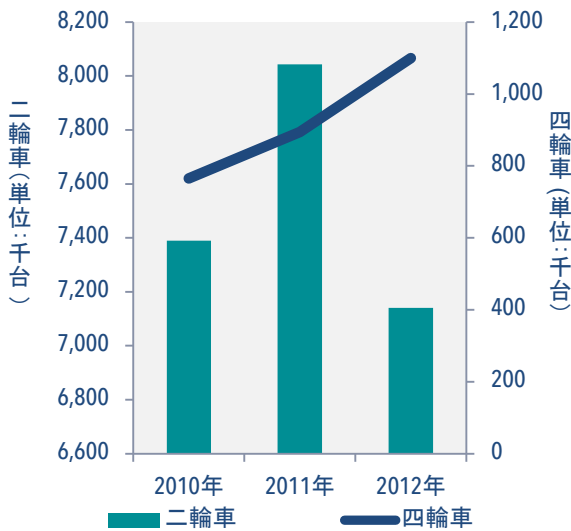
出典: インドネシア中央銀行、世界銀行、中央統計局、イプソス分析

インドネシアにおける自動車市場概要

インドネシアにおける2012年の自動車販売

2012年以降、新車販売台数(二輪車・四輪車合計)は合計800万台を超え、インドネシアの自動車産業は急速に成長しています。インドネシアの自動車市場は、世界最速で成長している市場にも数えられ、新たな大転換期が今この国で始まっています。また、インドネシアはホンダ、ダイハツ、トヨタといった世界的に有名な自動車メーカーが多く集まる拠点でもあります。

インドネシアの自動車販売数



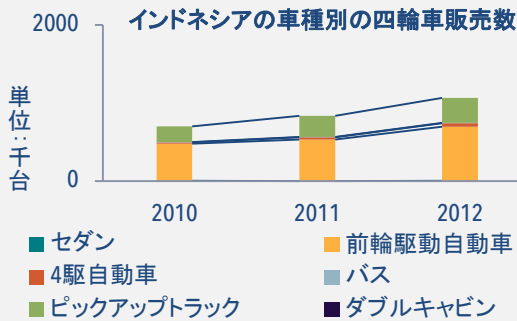
- 2012年の四輪車販売台数が110万台に達したのに対し、二輪車は700万台を超えました。インドネシアの自動車産業は世界最速の市場成長を誇る拠点です。2013年の販売数は、現在のところ2012年よりも多いペースとみられています。
- 2012年に売上110万台以上を超えた結果、インドネシアの四輪車販売は新たな節目に達しました。しかし、二輪車販売は2011年から2012年にかけて際立った落ち込みが見られました。これは中央銀行により新車の二輪車購入に対する最低頭金の新規制が設定されたためです。
- インドネシアにはホンダ、トヨタ、ダイハツといった国際的な自動車メーカーの主要な生産拠点となっています。2017年までには輸出台数が総生産の30%を超えると予測されており、2012年だけでも新車の輸出は20万台近くに達しました。

出典: GAIKINDO (インドネシア自動車工業会)、AISI (インドネシア二輪車製造業者協会)

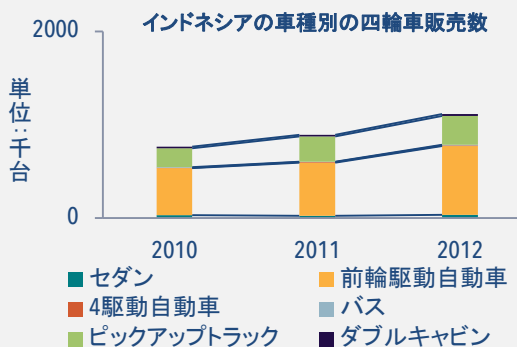
インドネシアの四輪車生産と販売

インドネシアにおける車種別の四輪車販売

インドネシアの自動車産業はほとんどファミリー向け自動車によって占められています。消費者の関心を引きそうな車種が他にもありますが、下表の通り、最も多く販売されているのはファミリー向けの前輪駆動自動車で、2位がピックアップトラックです。



- 前輪駆動車を購入する消費者は66%以上であるのに対して、ピックアップトラックは30%。インドネシアの自動車産業はファミリー向け前輪駆動車によって占められています。
- インドネシアでは、5人または7人乗りの前輪駆動車に関心がもたれています。一般的にそのようなタイプの自動車は空間が広く、大人数での旅行にも最適だからです。
- ピックアップトラックは、通常ロジスティック輸送に使われ、通行する地域で道路の幅やその他運送上の問題で大型トラックが使えない場合に有効です。
- インドネシアでは、セダンが高級車以上として考えられ、このタイプの利用は主要都市や都会地域に限定されます。
- ファミリー向け前輪駆動車やピックアップトラックはインドネシアで組み立てられますが、セダンやその他の高級車はCKD (構成部品を部品単位で輸入し現地で組み立てる方式) もしくはCBU (完成車方式) のいずれかで輸入されています。



出典: GAIKINDO (インドネシア自動車工業会)

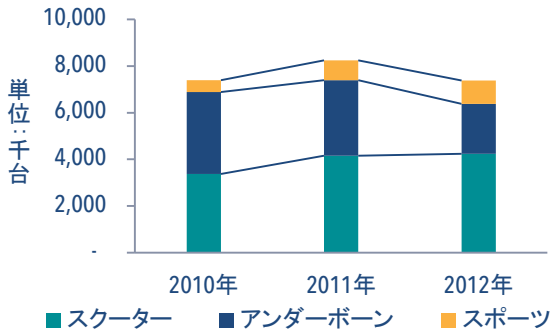
automotive.bc@ipsos.com

インドネシアの二輪車生産と販売

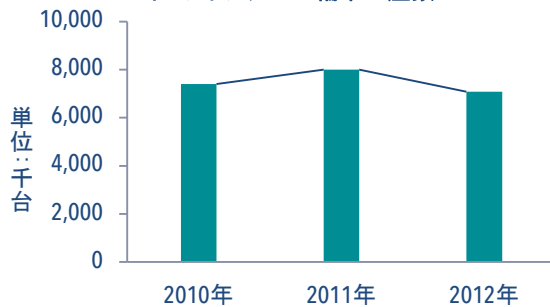
インドネシアにおける車種別の二輪車販売

スクーターが最もポピュラーになる中で、インドネシアの二輪車市場では2010年以来そのニーズが変化してきました。四輪車の人気が急速に高まり、購入しやすくなるにつれ、二輪車産業全体は2012年以来急速に衰退し始めました。

インドネシアの車種別の二輪車販売数



インドネシアの二輪車生産数



- インドネシアの二輪車市場では2010年以来その需要が変化してきました。2010年は「アンダーボーン」タイプの二輪車が、市場における販売数の60%以上を占めていました。
- 2011年になると「スクーター」タイプが差をつめてきました。2012年には「アンダーボーン」を追い抜いて市場を先導し、多くの業界リーダー達を驚かせました。
- オートマチック・トランスミッションを備えた「スクーター」は運転しやすく、セミ・オートマチック・トランスミッションの「アンダーボーン」に比べて、インドネシアの消費者に好まれました。スクーターの方が燃費効率がよいという認識も、その人気の要因となっています。
- 「アンダーボーン」と「スクーター」の他に、「スポーツ」タイプの二輪車が含まれ、2012年の販売台数も増加しました。
- グラフを見ても分かる通り、2012年における全タイプの二輪車の販売および生産数は減少しています。これは新たな規制によりインドネシア中央銀行が自動車購入時の頭金の最低額を設定したことが要因です。

出典: AISI(インドネシア二輪車製造業者協会)

2012年にインドネシアで販売された自動車メーカー上位10社

四輪車とピックアップトラック			二輪車		
メーカー	販売量(台数)	市場占有率(%)	メーカー	販売量(台数)	市場占有率(%)
トヨタ	333,991	36.18	ホンダ	4,092,693	57.31
ダイハツ	135,546	14.68	ヤマハ	2,433,354	34.07
三菱	124,446	13.48	スズキ	465,630	6.52
スズキ	103,357	11.21	カワサキ	131,657	1.84
日産	56,667	6.13	TVS	18,252	0.26
ホンダ	55,550	6.01			
日野	28,898	3.13			
いすゞ	28,359	3.07			
起亜	10,783	1.16			
マツダ	10,073	1.09			

出典: GAIKINDO, AISI

インドネシアの自動車メーカー生産能力

四輪車とピックアップトラック		二輪車	
メーカー	2012年の生産能力(台数)	メーカー	2012年の生産能力(台数)
アストラダイハツ自動車	330,000	ホンダ	4,800,000
スズキインドモービル	140,000	ヤマハ	3,700,000
トヨタモーターマニュファクチャラー	120,000	スズキ	1,000,000
クラムダティガブルリアンプロスペクトモーター(三菱)	120,000	カワサキ	100,000
ホンダプロスペクトモーター	72,000	TVS	300,000
いすゞアストラ自動車	51,000		
ゼネラルモーターインドネシア*	40,000		
日産自動車インドネシア	35,000		
現代インドネシア	27,000		

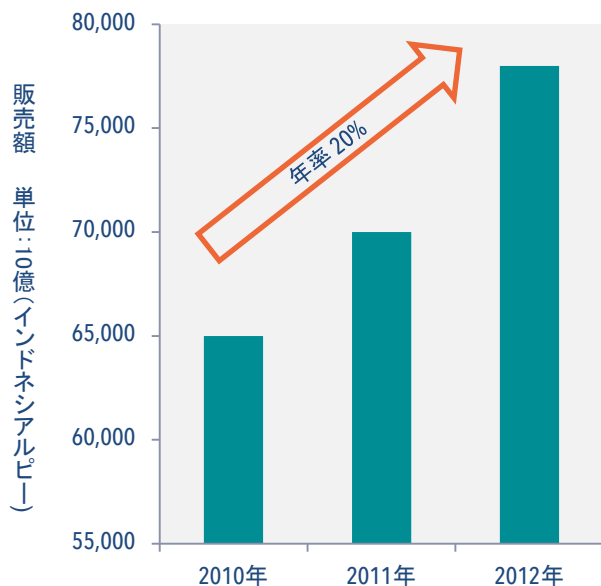
記: * GMの工場は2013年第2四半期より操業開始
出典: GAIKINDO, AISI

インドネシアにおける自動車部品市場概要

インドネシアにおける自動車部品販売のポテンシャル

インドネシアにおける自動車産業は今後数年間成長し続ける見込みです。若い世代が自動車を購入し続けていくことは間違いなく、自動車部品のニーズも今後数年間増え続けるでしょう。また、自動車の年式が古くなるにつれ、車の状態を維持するために定期点検と修理も必要になるでしょう。

インドネシアにおける自動車部品販売



- インドネシアにおける自動車産業は成長を続け、メーカーに対して自動車の組立てに必要な部品を提供する自動車部品産業など、様々な部品産業もその影響を受けると見込まれます。
- 2012年末までに自動車部品産業の市場規模は、総額82億ドル、78兆ルピアに達すると推定されています。
- 自動車部品産業の主な付属部品には下記のようなものがあります。
 - シャシーとボディアセンブリ
 - シリンダブロックと変速機アセンブリ
 - ブレーキ、クラッチ、バッテリーやフィルターなど、消耗の激しい部品

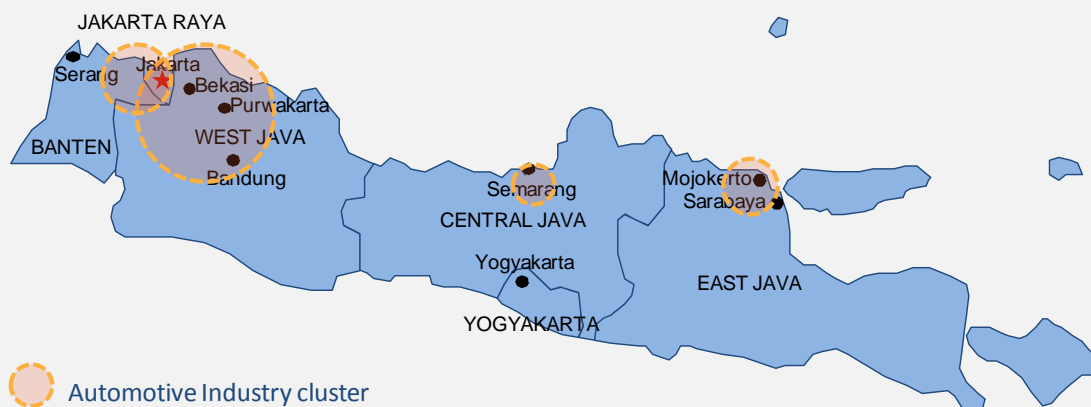
インドネシアの現状を見ると、以下のような潜在的な障害があるにもかかわらず、自動車産業が堅調であり続けるだろうことがわかります。

- 電気料値上げ
- 政府の燃料補助金の廃止・引き下げ
- 最低賃金引き上げ

出典：インドネシア自動車部品工業会

インドネシアにおける自動車部品産業群

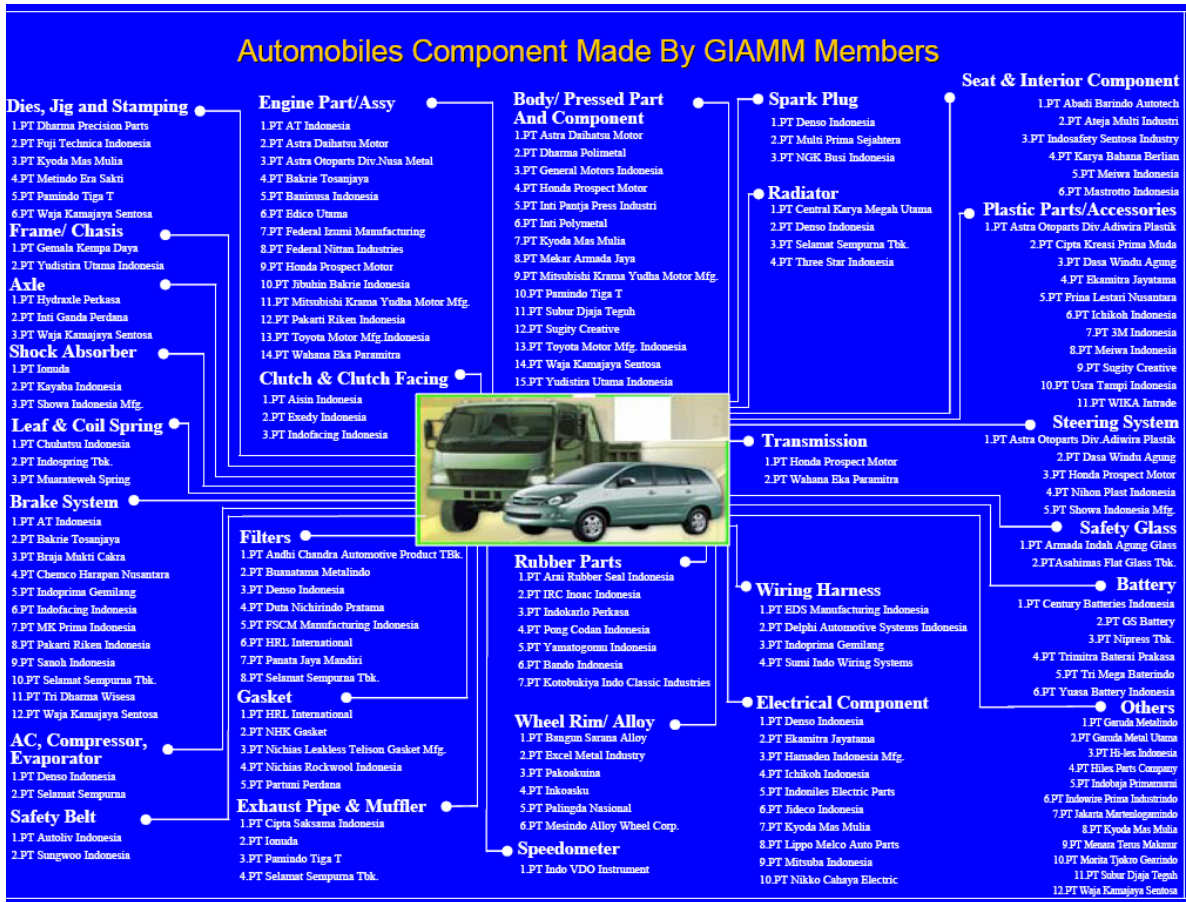
インドネシアにおける自動車産業の拠点は西ジャワ州地域に集中し、バンテン、ジャカルタ、西ジャワの3州で構成されています。しかし、中部ジャワ州と東ジャワ州の両州にもわずかながら企業の拠点があります。



州	バンテン	ジャカルタ	西ジャワ	中央ジャワ	東ジャワ
外資系企業	16社	20社	45社	0社	5社
インドネシア系国内企業	9社	23社	16社	2社	8社
合計	25社	43社	61社	2社	13社

出典：Indonesia Investment Coordinating Board, GAIKINDO, AISI, GIAMM

インドネシアにおける自動車部品生産



注記：GIAMM: Gabungan Industri Alat Mobil dan Motor, Association of car and motorcycle components producer

インドネシアの自動車部品輸出先



輸出先国	輸出額 (千円ドル) *
タイ	466,074
日本	451,950
フィリピン	382,332
サウジアラビア	378,708
マレーシア	284,401
その他の諸国	1,364,783

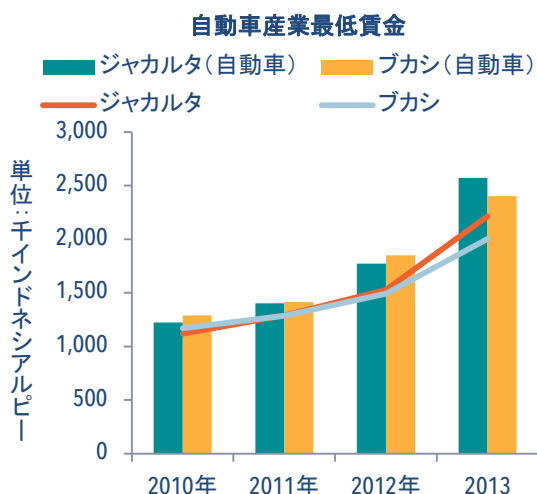
注記：* 2011年のデータに基づく資料

出典：国際貿易センター(ITC)貿易地図、トレードマップ、インドネシア商業省

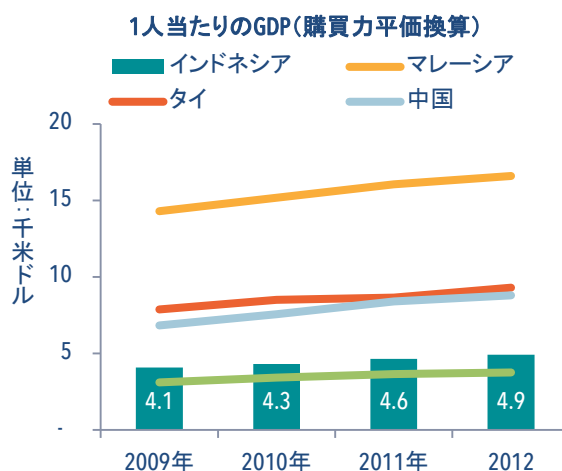
インドネシアの最低賃金と1人当たりのGDP (購買力平価換算)

インドネシアの自動車産業における最低賃金

インドネシアの自動車産業における最低賃金は、この国の自動車部品産業への参入を検討する際に重要なファクターとなります。国民1人当たりの国内総生産のみならず、自動車産業の最低賃金についてのキーとなるファクトは以下の通りです。



出典: 地方政府法令、労働省



出典: 世界銀行、国際通貨基金

最低賃金に関するキーファクト

- 自動車産業は、国内各州において最低賃金の規制がある、インドネシアでも数少ない産業。
- 平均すると、自動車産業では、地方政府・州政府によって設定された最低賃金の15%増しの賃金が支給されている。
- 2013年の自動車産業における最低賃金は、ジャカルタで45%上昇、ブカンで30%上昇した。

1人当たりGDPに関するキーファクト

- 国民1人当たりの購買力平価換算の国内総生産は、国家間全体の一般生活水準を比較するのに最も適している。
- インドネシアは、インドを除く他の国と比較すると、1人当たりの購買力平価換算の国内総生産が最も低い水準。

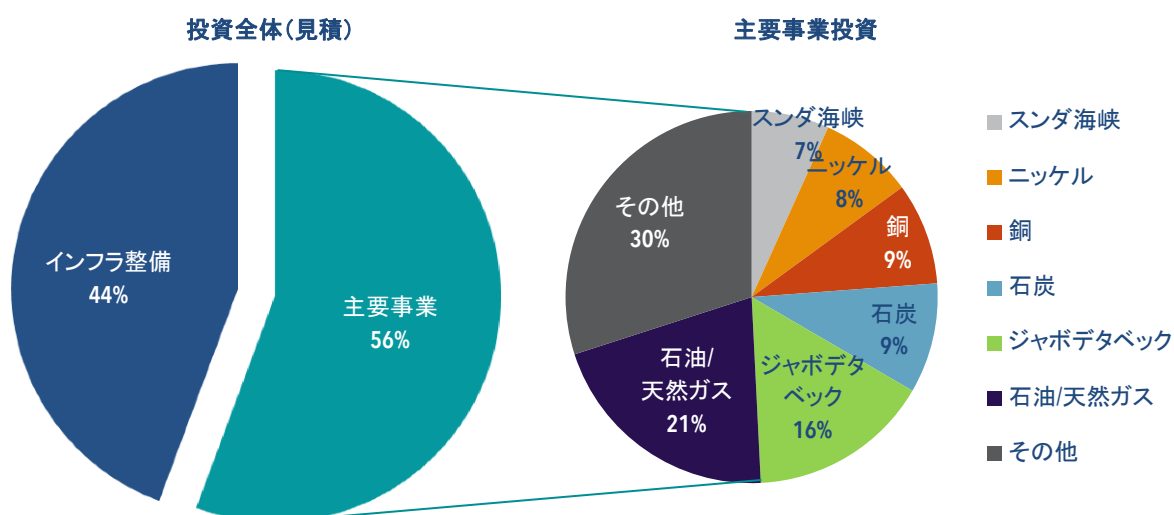
自動車部品に関する政府の方針と規制

- 国内産業方針に関するインドネシア共和国大統領令2008年第28号
- 低価格環境車以外のその他の種類の自動車の中で規定されている高級品付加価値税0%の恩恵を受けている「低価格環境車 (LCGC)」に関するインドネシア共和国政府令2013年第41号。LCGCとは、排気量1200cc以下で燃費1リッター当たり20km以上のガソリンエンジン車か、排気量1500cc以下で燃費1リッター当たり20km以上のディーゼルエンジン車です。さらに産業省により技術的な要件が定められています。
- 自動車産業界は新規制に対して肯定的で、インドネシアの自動車販売増加に役立つと説明しています。
- 特定の事業セクターと地域の両方またはいずれかにおいてなされた投資に対する所得税非課税に関するインドネシア共和国政府令2008年第62号
- 2011年会計年度の自動車メーカー用の輸入商品と材料に対する政府非関税に関する財務大臣令2011年11月第107号PMK
- 自動車部品製造、電子部品製造、光ファイバーケーブル製造、通信機器製造、船舶製造とメンテナンスに対する承認印紙と政府非輸入関税割り当て手順に関する産業輸送機器省、通信・情報省の監督令2009年3月第12号IATT/PER

MP3ETプログラムを通じた政府投資計画

政府の投資計画は4,211億ドル相当で、その44%はインドネシアのインフラ計画に充てられる見込みです。

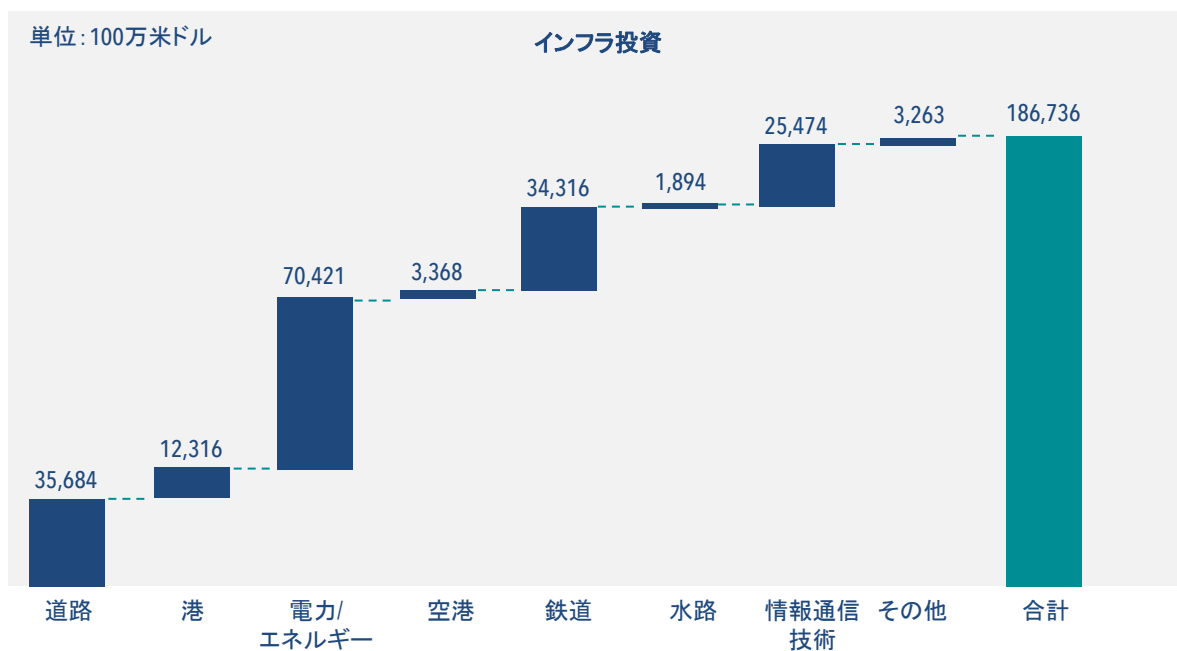
投資内訳



出典：インドネシア経済担当調整大臣府

政府インフラ投資計画

インフラ整備には1,860億ドル以上の投資が計画され、そのうちの4割程度が電力とエネルギー関連の投資です。



出典: インドネシア経済担当調整大臣府

最寄りのイプソス連絡先

オーストラリア

パース

Ground Floor, 338 Barker Road
Subiaco, WA, 6008
Australia
australia.bc@ipsos.com
Telephone 61 (8) 9321 5415

シドニー

Level 13, 168 Walker Street
North Sydney 2060
NSW, Australia
australia.bc@ipsos.com
Telephone 61 (2) 9900 5100

中国

北京

12th Floor, Union Plaza
No. 20 Chao Wai Avenue
Chaoyang District, 100020
Beijing, China
china.bc@ipsos.com
Telephone 86 (10) 5219 8899

上海

31/F Westgate Mall
1038 West Nanjing Road 200041
Shanghai, China
china.bc@ipsos.com
Telephone 86 (21) 2231 9988

香港

22/F Leighton Centre
No 77 Leighton Road
Causeway Bay
Hong Kong
hongkong.bc@ipsos.com
Telephone 852 3766 2288

インド

ムンバイ

5th, 6th and 7th Floor, Boston House
Suren Road, Andheri (East) 400-093
Mumbai, India
india.bc@ipsos.com
Telephone 91 (22) 6620 8000

ニューデリー

C-1 First Floor
Green Park Extension
110 016
New Delhi, India
india.bc@ipsos.com
Telephone 91 (11) 4618 3000

インドネシア

Graha Arda, 3rd Floor
Jl. H.R. Rasuna Said Kav B-6, 12910
Kuningan
Jakarta, Indonesia
indonesia.bc@ipsos.com
Telephone 62 (21) 527 7701

日本

Hulic Kamiyacho Building
4-3-13, Toranomon
Minato-ku, 105-0001
Tokyo, Japan
japan.bc@ipsos.com
Telephone 81 (3) 6867 8001

ケニヤ

Acorn House
97 James Gichuru Road, Lavington
P.O. Box 68230
00200 City Square
Nairobi, Kenya
kenya.bc@ipsos.com
Telephone 254 (20) 386 2721-33

マレーシア

18th Floor, Menara IGB
No. 2 The Boulevard
Mid Valley City
Lingkaran Syed Putra, 59200
Kuala Lumpur, Malaysia
malaysia.bc@ipsos.com
Telephone 6 (03) 2282 2244

フィリピン

1401-B, One Corporate Centre
Julia Vargas cor. Meralco Ave
Ortigas Center, Pasig City, 1605
Metro Manila, Philippines
philippines.bc@ipsos.com
Telephone 63 (2) 633 3997

シンガポール

11 Lorong 3 Toa Payoh
Block B #03-26/27/28
Jackson Square, S319579
Singapore
singapore.bc@ipsos.com
Telephone 65 6333 1511

韓国

12th Floor, Korea Economic
Daily Building, 463 Cheongpa-Ro
Jung-Gu 100-791
Seoul, South Korea
korea.bc@ipsos.com
Telephone 82 (2) 6464 5100

タイ

21st and 22nd Floor, Asia Centre Building
173 Sathorn Road South
Khwaeng Tungmahamek
Khet Sathorn 10120
Bangkok, Thailand
thailand.bc@ipsos.com
Telephone 66 (2) 697 0100

トルコ

Centrum Is Merkezi Aydinievler No:3
34854 Kuçukyali 3
Istanbul, Turkey
turkey.bc@ipsos.com
Telephone 90 (216) 587 1111

アラブ首長国連邦

4th Floor, Office No 403
Al Thuraya Tower 1
P.O. Box 500611
Dubai Media City, UAE
uae.bc@ipsos.com
Telephone 971 (4) 4408 980

イギリス

Minerva House
5 Montague Close
SE1 9AY
London, United Kingdom
uk.bc@ipsos.com
Telephone 44 (20) 3059 5000

アメリカ

31 Milk Street
Suite 1100
Boston, MA 02109
United States of America
us.bc@ipsos.com
Telephone 1 (617) 526 0000

ベトナム

Level 9A, Nam A Bank Tower
201-203 CMT8 Street, Ward 4
District 3
HCMC, Vietnam
vietnam.bc@ipsos.com
Telephone 84 (8) 3832 982

consulting.bc@ipsos.com

イプソスビジネスコンサルティングに関する詳細な情報をお知りになりたい方は弊社のグローバルウェブサイトをご覧ください。